

乳児期



- ・喃語…生後2,3か月頃から出す「あー」「うー」などの声
- ・「あー、だね。」「うー、だよね。」と返してあげる
⇒赤ちゃんはわかってもらえた喜び、
声を出して気持ちを伝えたいという意欲が高まる。

- ・1歳前後の初語が出る少し前から、子どもは身の回りのものを指差しするようになる。
- ・お子さんが「あっあっ」と言いながら道端の花を指差したら…
 - ① まずは一緒にその花を見る。
 - ② 「赤いお花だよ、キレイだね。」と語りかける。



※こうしたやり取りを繰り返すうちに、子どもは親の言葉をまねるようになり、言葉の獲得につながっていく。

ことばの発達の順序

- ① **【聞く時期】**
- ② **【単語を口にする時期】**
- ③ **【二語文を話す時期】**
- ④ **【助詞を使えるようになる時期】**
- ⑤ **【過去形を話せる時期】**

- **特に大切なのは、ことばを蓄積する【聞く時期】**
 - ・この時期に子どもはたくさんのことばを蓄積していく。
 - ・子どものまわりの、ことばの環境が豊かであることが大切。
- **ことばのシャワーを浴びながらことばを身につける**
 - ・子どもは常に周囲の会話からたくさんのことばを聞き取っている。
 - ・家庭の中での会話が豊かであれば、子どもはきちんとことばを伸ばしていくことができる。

ことばを育むジェスチャー遊び

「バンザイ」

「やったー！」と大人がジェスチャーで喜びを表現すれば、赤ちゃんは『うれしい』という意味を言葉と動作から感じとります。



「どうぞ、ちょうだい」

「どうぞ」と言って物を渡し、「ちょうだい」と言って物をもらう。赤ちゃんにとっては言葉の意味を知る楽しい遊びです。



幼児期

◎話す楽しさを体験させよう！！

- 子どもの話にうなづいたり、共感したりしながら、「聞き上手」になろう！！
- 子どもはスムーズには話せないので、子どもの話をすぐに遮らずよく聞くこと
- 話し方や発音が気になる時…指摘して言い直しさせる ✖

↳ 自然な会話の中で、大人が正しい発音を聞かせてあげて

◎本を読んであげよう！！

- 想像力や豊かな感情を育てる
- 「聞く力」を育てる
- 本に載っている言い方を少しずつ覚えていく



言葉の発達を促す工夫

<h3>子どもの話にあいづちを打つ</h3> <p>へえ～それで？</p>	<h3>親の方からも話しかける</h3> <p>今日は何して遊んだの？</p>	<h3>会話を先回らない</h3> <p>お休みしたんでしょ？</p> <p>今日 OOくんがね…</p>
<h3>言葉を考えている時は待ってあげる</h3>	<h3>いろいろな体験をさせる</h3>	<h3>何でも話せる雰囲気づくりを</h3>

言葉の育ち Q&A



Q 赤ちゃんにも話しかけが大切だと聞きますが、何を話せばいいかわかりません。

A 着替える時に「おててを入れるよ」、おむつを替える時に「キレイキレイにするね」など、普段のお世話の内容を言葉にして伝えていくことを心がけましょう。黙ってお世話されるより赤ちゃんも安心しますし、毎日繰り返すことで言葉に意味があることを理解していきます。



- 赤ちゃんが「ブーブー」と言ったら、「ホントだ、ブーブーだね」とそのまま真似てあげましょう。

Q 周りの子に比べ、言葉が遅いのでは？と感じます。

A 言葉の発達は個人差が大きく、子どもの性格や育った環境にも影響を受けます。
 • どうしても言葉の遅れが心配な時は、下記のことができるかどうかチェックしてみましょう！できないことがある時は、発達を妨げている原因があるかもしれないので、保健センターや子育て世代包括支援センターなどに相談してみましょう。

＜言葉が育つために必要なこと＞

1. 耳が聞こえているか(聴力)
2. 言葉の意味をわかっているか(言語理解)
3. 気持ちの交流ができているか(対人関係)
4. 何でもいから声を発するか(発声)
5. 大人のしぐさを真似するか(模倣)